

<九頭竜川・北川減災対策協議会>

○近畿で初めて「減災に係る取組方針」を策定。（平成28年6月2日）

～**水害経験の無い若い世代にも水防災意識を「継承」**～

○構成メンバー：福井市長、あわら市長、坂井市長、永平寺町長、小浜市長、若狭町長
福井県土木部長、気象庁神戸地方気象台長、福井河川国道事務所長

※今後、平成32年度までに水防災意識社会を再構築するため、継続的にフォローアップを行う。

■ 5年間で達成すべき目標

平成16年7月の福井豪雨や平成25年9月の台風18号の教訓を踏まえ、九頭竜川・北川の大規模水害に備えて「逃がす・防ぐ・復旧する」ことに取り組み、**次世代に「水害に強い地域」と水防災意識を「継承」**する。

■ 取組の具体的な内容

「逃がす」：避難情報が対象者に着実に届くようにケーブルテレビや防災メールの導入等。
「防ぐ」：市町を越えた広域水防訓練の実施等。
「復旧する」：「福井県社会貢献活動支援ネット」システムを非常時に協議会構成員全体で活用できるよう拡充。
そして、これらの取り組みを着実に進めて、**次世代へ『継承』していくために、小学生を対象とした「わが家の防災コンテスト」などの参加型の防災啓発活動等をさらに進める。**

<次世代へ継承していく取組「わが家の防災コンテスト」>



- ・福井豪雨を振り返り、**改めて水害に対しての防災・減災への意識を喚起**するため、福井県内の小学生とその家族を対象に防災コンテストを実施。
- ・コンテストでは、福井豪雨を経験していない小学生が、災害が発生した時に避難する場所や危険な場所がどこなのか、災害が起こった時にどう行動すればよいか等を、**家族と話し合っ**て作成する「防災マップ」を応募。
- ・福井県内の**小学生の参加者数の増加を図るため、域内小学校に積極的に働きかける。**